

令和 7 年度 民間賃貸住宅（共同住宅）の性能・仕様に関する アンケート調査概要

1. 賃貸住宅の新築工事の有無

- 問1 貴社はこれまで、新築賃貸住宅を、貴社の事業として、あるいは貴社が元請けで建設したことがありますか。
- 問2 問 1 で、「1 ある」と回答した方に伺います。2023 年、2024 年における 1 年間の賃貸住宅の完工戸数を記入してください。

2. 貴社が建設する新築賃貸住宅のタイプ

貴社が建設する新築賃貸住宅のタイプについて伺います。「共同住宅」が対象です。「長屋建て」、「一戸建」は除きます。

- 問3 構造とその全体に占める割合

3. 新築における、床の標準的な遮音対策について

- 問4 床の標準的な遮音対策についてお答えください。重量床衝撃音に対し、「一定の遮音対策」を講じていますか。「一定の遮音対策」とは、概ね次の通りとします。
- ・ 木造・鉄骨造 : 重量床衝撃音遮断性能：LH-55 以上の床部材を使用している
(実際の建物での測定で LH-55 以上を確認している場合も含みます)
 - ・ 鉄筋コンクリート造 : コンクリートの床厚（スラブ厚）が 15cm 以上
- 問5 問 4 で「1 講じている」と回答した方に伺います。おおよそいつから講じていますか？
- 問6 問 4 で「2 講じていない」と回答した方に伺います。その理由は何ですか？

4. 既存賃貸住宅の改修事例について

- 問7 これまで、既存賃貸住宅（共同住宅）の改修を、貴社の事業（自社物件）として、あるいは元請けで実施したことはありますか。
- 問8 問 7 で「1 実施したことがある」と回答した方に伺います。改修した既存賃貸住宅は、改修した際に、重量床衝撃音に対し、「一定の遮音対策」を講じましたか？
- 問9 問 8 で「1 講じた」と回答した方に伺います。これまで行った「一定の遮音対策」について、改修した物件の建築年別（改修年ではありません）に戸数を、改修した年が 2023 年以前と 2024 年以降であるものをそれぞれ記入してください。（おおむねで結構です。）
- 問10 問 8 で「1 講じた」と回答した方に伺います。「一定の遮音対策」を講じた既存

賃貸住宅の構造別戸数比率を記入してください。（おおむねで結構です）

- 問11 問7で「1 実施したことがある」と回答した方に伺います。2024年以降に改修した既存賃貸住宅は、改修した際に、窓に二重サッシまたは複層ガラス（ペアガラス）を使用しましたか。
- 問12 問11で「1 全ての窓に使用」、「2 一部の窓に使用」、「3 全ての窓に使用している物件と、一部の窓に使用している物件がある」と回答した方に伺います。窓に二重サッシまたは複層ガラス（ペアガラス）を使用した2024年以降に行った改修について、それぞれの戸数を、改修した物件の建築年別（改修年ではありません）に記入してください。（おおむねで結構です。）
- 問13 問11で「1 全ての窓に使用」、「2 一部の窓に使用」、「3 全ての窓に使用している物件と、一部の窓に使用している物件がある」と回答した方に伺います。2024年以降に、窓に二重サッシまたは複層ガラス（ペアガラス）を使用した改修を行った既存賃貸住宅の構造別戸数比率を記入してください。（おおむねで結構です。）

5. 賃貸住宅の断熱性能向上や遮音対策を促進するために必要なこと

- 問14 新築、既存を問わず賃貸住宅について、一定の断熱性向上や遮音対策を促進するために必要だと思うことを お答えください。